


これで良いのか事業性評価シリーズ（第 2 回）

## 業種別にみる事業性評価のポイントと実践

長引く金融緩和とマイナス金利政策下で、2018 年末の国内貸出残高は 504 兆円と、21 年振りの高水準となりました。事業性評価が叫ばれる中で、不動産業、建設業と金融機関の不適切融資、ゾンビ企業の低金利での奪い合いなど融資の原則を逸脱した営業活動が囁かれ、水面下で隠れ不良債権が増加していると言われています。

事業性評価は、業種特性や業界動向、業界の抱える課題などをシッカリ理解した上で、対象企業の経営実態の把握、事業の将来性や経営課題の把握に繋げると効果的です。理解している人としていない人とは大きな開きになります。本セミナーでは、「事業性評価シリーズ」の第 2 回として、

①今は絶好調だがオリンピック・パラリンピック後が心配な「**建設業**」

②全業種と深い係りがあり、かつロジステック 4.0 など変革期の真ただ中にある「**物流業**」の 2 業種に的を絞り、事業性評価セミナーを開催します。

- ・ 事業性評価を一般論ではなく業種別に展開できますか？
- ・ 業種別の現場観察や経営者面談のポイントがわかりますか？
- ・ 業種別に支援のポイントがわかりますか？
- ・ 外部の専門家をコーディネートして課題解決ができますか？
- ・ 取引先企業の成長支援や経営改善、再生など具体的な成功体験を創れますか？

### ① 「建設業の事業性評価」

開催日：2019年8月22日（木）1.0日間

### ② 「物流業の事業性評価」

開催日：2019年8月23日（金）1.0日間

会場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：SKY経営研究所 代表取締役社長 横山 皓一 氏

主催：CMC

Computer Based Management College

<https://www.nikkin.co.jp/cmc.html>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます。

後援：一般社団法人 全国地方銀行協会  
一般社団法人 第二地方銀行協会  
一般社団法人 全国信用金庫協会  
一般社団法人 全国信用組合中央協会

## ☆セミナーのねらい

- ・事業性評価を一般論ではなく業種別に具体的に展開する必要があります。
- ・業種別の独自の環境や事業展開、財務基準などを踏まえた評価を構築する必要があります。
- ・事業性評価の基本である現場での観察やコミュニケーションなどの情報収集能力を高めて企業の実態を把握する必要があります。
- ・業種別の課題パターンと課題解決の支援セオリーを知る必要があります。
- ・業種別の成功パターンと失敗パターンを知る必要があります。

## ☆研修のテーマ

- ・業種別の事業性評価の方法
- ・業種別の事業構造とビジネスモデルの革新の仕方
- ・業種別の成功例の研究
- ・業種別に企業を成長軌道に乗せる継続的支援方法

## ☆研修の対象

本部債権管理部門の管理者及び担当者、本部審査部門の管理者及び担当者、現場で取引先の経営改善計画作りに携わる管理者及び担当者 など

## ☆開催要綱

日 時：①建設業の事業性評価  
2019年8月22日（木） 1. 0日間

②物流業の事業性評価  
2019年8月23日（金） 1. 0日間

時 間：①10:30～17:00  
②10:30～17:00

会 場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料：A＝CMC会員価格、B＝後援協会会員価格、C＝一般価格

### ①、②のうち1セミナーにお申し込みの場合

- A 41,040 円（本体価格 38,000 円）
- B 44,280 円（本体価格 41,000 円）
- C 47,520 円（本体価格 44,000 円）

### ①、②の両方のセミナーにお申し込みの場合

- A 82,080 円（本体価格 76,000 円）
- B 88,560 円（本体価格 82,000 円）
- C 95,040 円（本体価格 88,000 円）

定 員：40名（最少開催人員10名）

## <講師の紹介>

SKY経営研究所 代表取締役社長 横山 皓一 氏

さくら銀行（現 三井住友銀行）出身。営業店、本部勤務を経て、さくら総合研究所で経営コンサルティング部長、取締役として多くの企業の経営指導、研修に携わる。その後、日本総合研究所を経て株式会社SKY経営研究所を設立、日本生産性本部認定経営コンサルタント、リスクマネジメント協会会員（ディプロマ資格）、日本インターンシップ学会会員（監事）。

## 業種別にみる事業性評価のポイントと実践

①「建設業の事業性評価」 8月22日（木）	②「物流業の事業性評価」 8月23日（金）
10：30～17：00（10：00 受付開始）	10：30～17：00（10：00 受付開始）
<p><b>I. 事業性評価の共通認識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業性評価とは（定義）</li> <li>(2) 事業性評価の内容とポイント</li> <li>(3) 好業績企業のモデル式と事業性評価</li> <li>(4) 事業性評価は何のために行うのか</li> <li>(5) 必要な思考法、経営諸手法など</li> </ul> <p><b>II. 建設業の事業性評価</b></p> <p><b>1. 知っておきたい建設業の基本的事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建設業の許認可要件と業界構造</li> <li>(2) 建設市場の推移と市場構造</li> <li>(3) 建設業を取り巻く環境と業界課題など</li> </ul> <p><b>2. 建設業の事業特性を理解する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建設業7つのポイント</li> <li>(2) 民間工事と公共工事のポイント</li> <li>(3) 建設業の内在リスクを知る</li> <li>(4) 建設業の管理と重要3表</li> </ul> <p><b>3. 建設業会計と財務的特色</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建設業会計を知る</li> <li>(2) 建設業と税法基準</li> <li>(3) 事例で工事基準を理解する</li> <li>(4) 建設業の財務的特色を知る</li> </ul> <p><b>4. 建設業の事業性評価とポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建設業の業務プロセスを知る</li> <li>(2) 業務プロセスと事業性評価の視点</li> <li>(3) 業務プロセスと成功事例の紹介</li> <li>(4) 取引先企業の課題が掴めるか？</li> </ul> <p><b>5. 建設業の進路と金融機関の支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) マザー産業としての事業機会</li> <li>(2) 接続産業と事業機会</li> <li>(3) 地場産業の使命と事業機会</li> <li>(4) 継続的な成長企業を育成する</li> </ul>	<p><b>I. 事業性評価の共通認識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業性評価とは（定義）</li> <li>(2) 事業性評価の内容とポイント</li> <li>(3) 好業績企業のモデル式と事業性評価</li> <li>(4) 事業性評価は何のために行うのか</li> <li>(5) 必要な思考法、経営諸手法など</li> </ul> <p><b>II. 物流業の事業性評価</b></p> <p><b>1. 物流を征する企業は業界を征す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) サプライチェーン、ロジスティクス、物流、輸配送の定義と事業構造</li> <li>(2) 物流業務のない企業はない</li> <li>(3) 物流の5大任務を理解する</li> <li>(4) 物流コストの算定法を知る</li> </ul> <p><b>2. 激変する外部環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 物流業界を取り巻く環境の変化</li> <li>(2) 物流業界のプレーヤー</li> <li>(3) 物流業（トラック運送業含む）の許認可と種類、業界構造、市場規模等</li> <li>(4) 国や業界の物流改革と新しい動き</li> </ul> <p><b>3. 物流業の事業性評価とポイント</b> —トラック運送業を中心に—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 財務諸表から事業特性を理解する</li> <li>(2) 業務プロセスと事業性評価の視点</li> <li>(3) 現場改善（強み）チェックと KPI</li> <li>(4) 強み、売りの創出と成功事例</li> </ul> <p><b>4. 成長戦略とコスト戦略を考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 物流業の成長戦略の方向性</li> <li>(3) 物流コスト削減の視点と方向性</li> <li>(3) ロジスティクス 4.0 を考える</li> <li>(4) 顧客課題の把握と支援</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>両日とも、12時ごろに昼食休憩を設けます。</b></p> <p style="text-align: center;"><b>※昼食は、両日ともお弁当をご用意します。</b></p> <p style="text-align: center;"><b>※講義の合間に、適宜休憩時間を設けます。</b></p>

32・33

業種別にみる事業性評価のポイントと実践

①「建設業の事業性評価」(8/22)

②「物流業の事業性評価」(8/23)

※お申し込みされるセミナーの番号(①または②、両方受講の場合は①②)を下記の「セミナー番号」の欄に記入してください。

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

セミナー番号	参加者氏名	所属(部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

**受講料 A: CMC会員価格、B: 後援団体会員価格、C: 一般価格**

◆①または②の1セミナーを受講の場合

A: 41,040円、B: 44,280円、C: 47,520円

◆①および②の両方のセミナーを受講の場合

A: 82,080円、B: 88,560円、C: 95,040円

お問い合わせは、

(昼食は両日ともお弁当をご用意いたします)

株式会社 CMC

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注: 振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 (名義) 株式会社 CMC

振込予定日(できるだけご記入ください) 月 日

受講についてのお願い

①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。

②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。

③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁(枝番数字)を付記してください。

振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。

④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。

⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。

⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。

⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。